




審 査 結 果 の 要 旨

報告番号	乙 第 2857 号	氏名	上妻 友隆
審 査 担 当 者	主 査	星 野 友 昭	(印) 
	副主査	廣 松 雄 治	(印) 
	副主査	西 昭 徳	(印) 
主論文題目: Prognosis of Pregnant Women with One Abnormal Value on 75g OGTT (75g OGTT において 1 点のみ異常を示す妊婦のインスリン使用予測に関する検討)			

審査結果の要旨（意見）

妊婦は糖尿病合併に伴って胎児奇形、巨大児、早産などの産科合併症が増えることが知られている。そのため、妊婦の耐糖能異常妊婦の中で、インスリン導入を予測することは、臨床上、非常に大切である。本研究は、75gOGTT で 1 点のみの異常をもつ耐糖能異常妊婦 17 名を用いた、後ろ向きコホート研究である。インスリン導入が必要となる妊婦を比較的簡便な方法 (insulinogenic index) で抽出しており、臨床においても有用な研究であると考ええる。

惜しむらくは、インスリン導入を必要とした 75g OGTT において 1 点のみ異常妊婦の症例数が 17 例と少ないことである。これらの症例数が年間 1~2 症例であることを考えると、単施設で行う研究としては限界と考えられた。

論文要旨

本研究の目的は、75gOGTT で 1 点のみ異常を示す耐糖能異常妊婦 (OAV) のうち、インスリンが必要となるリスク因子を抽出することにある。

旧基準による 75gOGTT により OAV と診断した妊婦 118 例を対象とした。食事療法のみで管理可能であった妊婦 101 例と、インスリン療法を導入する必要があった妊婦 17 例について検討をおこなった；75gOGTT 施行時における血糖値 (PG)、インスリン値 (IRI)、PG および IRI のエリア・アンダー・カーブ (AUC-PG、AUC-IRI)、インスリンインデックス、HOMA-IR、ISI-composite、75gOGTT 施行時の HbA1c。多変量解析の結果、負荷後 120 分における血糖値 [Odds 比 1.06, 95%CI (1.02-1.10), $P < 0.01$] およびインスリンインデックス [Odds 比 0.03, 95%CI (0.00-0.50), $P < 0.05$] がそれぞれ独立したリスク因子として抽出された。ROC 解析によって、負荷後 120 分における血糖値 ≥ 153 mg/dL かつ、インスリンインデックス < 0.42 がカットオフ値として求められた (感度 81.8%、特異度 83.8%、陽性的中率 60.0%、陰性的中率 93.9%)。

75gOGTT 施行時の負荷後 120 分における血糖値 > 153 mg/dL かつインスリンインデックス < 0.42 を呈する OAV 妊婦は、将来インスリン療法を導入する必要性が高いため、慎重な管理が必要である。